

V 道教委の改善方策

道教委では、平成23年6月に「平成26年度の全国調査までに全国平均以上」という目標を設定し、今年度、中学校国語Aでは目標を達成しました。他の教科は目標に近づいてきましたが、達成には至らなかったところです。

目標を達成するためには、正答数の少ない（全国の下位約25%に含まれる）児童生徒の割合をさらに改善するなど、なお一層の努力が必要と考えています。今後も、授業改善と生活習慣の確立を車の両輪と位置付け、正答数の少ない児童生徒の割合をさらに改善することに重点的に取り組みつつ、平成27年度には、全ての教科で全国平均以上となるよう、学力向上の取組を推進してまいります。

なお、学力向上の取組は、平成26年度の事業等を記載しています。

平成27年度についても、引き続き学力向上に取り組んでまいります。

■ 平成26年度新規・拡充事業

事業名	概要
ほっかいどう学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上推進研修会の開催（H26:14管内で実施） <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査結果の分析・活用方法等に係る研修会 ○ほっかいどうチャレンジテスト（年間9回配信予定） ○調査結果報告書の作成及び工夫改善
一層の学力向上が望まれる地域への集中的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○支援地域・拠点校の指定（H26:25市町29校（小19、中10）） <ul style="list-style-type: none"> ・各管内において、一層の学力向上が望まれる地域や学校を支援地域・拠点校として指定し、全国各地で授業改善の指導を行っている専門家を派遣するなど、実効性のある取組を普及する推進協議会を開催 ・指導主事による現状分析や授業改善等のコンサルティング ・指導主事が支援地域や拠点校に対し、集中的な学校訪問を実施
小中連携、一貫教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校間で連携一貫した指導方法や指導体制を工夫改善する実践事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実践指定地域（H26～H28（3年間）：14地域33校、うち4地域8校を小中一貫パイロットモデル地域として指定）
地域一体での学力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道の子どもたちの学力について考える会の開催（H26:14管内で実施） <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域住民等が一堂に会して、学力向上等に成果を上げている市町村や学校の取組を共有し、地域一体となった学力向上の機運を高める「考える会」の開催
学校サポーター派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村に学校サポーターを派遣し、授業以外での学習の時間や機会を確保（H26.10月現在、63市町村で実施）
子どもの生活習慣づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活リズムチェックシート」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者用ハンドブックの作成及び活用に向けた普及啓発 ○「子ども朝活」の実施（H26:42市町村） <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中における子どもの生活リズムを整えるプログラムの実施 ○子どもの生活習慣づくり研修会の実施
子どもの読書活動活性化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館の活性化及び魅力ある学校図書館づくりのための研修を実施（5管内で実施） ○子ども会と連携し、家庭での読書習慣の定着に向けた講演等を実施（5地域で実施）

■ 平成26年度継続事業

事業名	概要
「学校力向上に関する総合実践事業」	<p>○学校改革に関する認識を共有する管理職チームの下で包括的な学校改善を実施</p> <p>○数値目標を設定し、基礎学力保障の取組を実施</p> <p>○初任者研修を自校実施し、将来を担う若手のスクールリーダーを多数輩出 〔H25〕 H24の7校に7校を加え14校（近隣校計40校） 〔H26〕 H25までの14校に5校を加え19校 （14管内全てで実施、近隣校計61校、特別連携校11校）</p>
教職員定数加配 （指導方法工夫改善加配）	<p>○全国学力・学習状況調査等の各種調査で明らかとなった課題などに対応するため、教育課程や指導方法・指導体制の改善に積極的に取り組む学校に加配措置</p> <p>〔H25〕 教職員定数加配校（1,044校、1,450名） 〔H26〕 教職員定数加配校（1,033校、1,452名）</p>
巡回指導教員活用事業 （指導方法工夫改善加配の再掲）	<p>○教科指導に優れた教員のサポートによる若手教員等への支援 ※学校数に登別明日中等学校は含まない</p> <p>〔H25〕 巡回指導教員65名 （本務校65校、兼務校123校、計188校 / 全道小中学校 1,476校（12.7%）） 〔H26〕 巡回指導教員68名 （本務校68校、兼務校127校、計195校 / 全道小中学校 1,437校（13.6%））</p>
退職教員等外部人材活用事業	<p>〔H25〕 配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上非常勤講師（249名） ・ 小学校外国語活動における社会人等外部人材（60名） <p>〔H26〕 配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上非常勤講師（260名） ・ 小学校外国語活動における社会人等外部人材（66名）
「新たなミッションを担う事務職員」加配	<p>○教員の事務負担軽減、地域連携や学校間連携の充実を担う事務職員を配し、学校力をアップ</p> <p>〔H25〕 加配校（83校 84名） 〔H26〕 加配校（83校 84名）</p>
指導主事の学校訪問による学校教育指導	<p>○複数回実施</p> <p>〔H25〕 おおむね一校3回を実施 〔H26〕 おおむね一校3回を実施予定</p>
公立小中学校教職員広域人事	<p>○平均年齢の高い管内と平均年齢の低い地域を有する管内との間で教職員の広域人事（原則3年間勤務）を実施</p> <p>〔H25〕 46名 〔H26〕 38名</p>
子どもと向き合う時間の確保	<p>○教員の業務負担軽減の観点からの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の効率化等の取組や校務支援システムの円滑な運用と導入拡大、若手教員の授業準備の支援などの取組